

事務事業評価における総括

部 局 名	下水道河川部	記入責任者	越野 明
評価について（現状と課題）			
<p>【事業の達成状況について（現状）】</p> <p>下水道河川部の政策的事業は16事業で、すべての事業が概ね順調に進捗しており、13事業をS評価とし、3事業をA評価としました。施策指標も概ね達成をできており、着実に成果をあげることができています。</p> <p>【達成できた（できなかった）要因についての分析（課題）】</p> <p>各課が事務事業の目的達成に向けた取組を進めたことが、すべての重点事業で成果のあがった要因と考えています。</p> <p>職員の時間外勤務についてもすべての課で昨年度と比較し減少しており、業務のマニュアル化やコミュニケーションの活性化等を通じて各職員が時間の有効活用に努め、業務の効率化を進めることができました。</p>			
今後の方向性			
<p>【政策・施策目標の達成に向けた今後の方向性について】</p> <p>下水道河川部の各事業は、順調に進んでいます。</p> <p>全国では大雨や地震等による災害が発生しており、本市においても市民の安全・安心を確保するため、雨水対策や下水道施設の地震対策が求められています。特に、雨水対策については、面整備の進捗による雨水排除能力の拡大に加えて、貯留・浸透などの流出抑制対策も併せて実施するとともに、優先度を見極めた上で事業の効率化とコストの縮減を図ります。</p> <p>老朽化している下水道施設の維持管理については、限られた財源の中で「茅ヶ崎市公共下水道施設維持管理計画」に基づき、予防保全を軸とした改築更新を計画的かつ効率的に進め、戦略的な投資による施設の最適化を図ります。</p> <p>下水道事業の経営についても、コストとそれに対する収益を意識し、更なる効率化と質の向上を図ります。</p>			